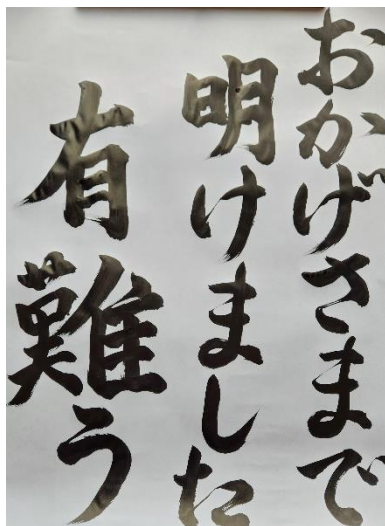


慶念寺々報

つなぐがけ

慶念寺の掲示板 第二十九回



「おかげさままで明けました 有難う」
昨年もこの言葉で始めさせていたくださり
た。この気持ちを今年も忘れずに行こうと思
います。

日々の生活を一生懸命生きていると、どう
しても「私がやった」「私ができる」というよ
うな「私が私」という思いがつのつていき
ます。これがつると「お礼の一つも言いや
さない」「せっかくなきゃやってやったのに」「やっ
ただけ損だった」というような思いがどんど
んと心の中に溜まってしまいます。

不平不満のもととなるのは「私が」とい
う考え方。もちろん絶対にダメというわけでは
ありません。やる気は大切です、誰か



のために何かをしようと思う気持
ちはとても大切なことです。しか
し、ここにこだわり、ここに捉わ
れてしまうとせっかくなかのやる気
が、「誰かのために」という心
が、悪い方向へとどんどん進んで
いってしまうんです。

そうではなく、「おかげさままでさせていた
だいている」「沢山のおかげさまがあったか
らこそ今の自分がある」そう思い、一つひと
つのことをさせていただと、私達の行いも
感謝の行いになります。「私」を「おか
げさま」に変えていく。これだけで考え方、
感じ方がガラッと変わります。

慶念寺も沢山のおかげさまがあつて今年を
迎えることが出来ました。正直な所、「年が
越せるだろうか」と思い悩んだことも一度や
二度ではありません。でも、沢山のおかげさ
まがあつて、今年も新たな年を迎えることが
出来ました。皆様のおかげさま、阿
弥陀様のおかげさまで、今年も年が
明けました。有難うございます。



年明け早々、災害や事故のニュースが飛び
込んでまいりました。まだ全容がわかってい
ないことも多く、私達に出来ることはまだ限
られております。でも、いざという時におか
げさまの気持ちを持って行動が起こせるよう
に準備をしていきたいと思ひます。

慶念寺は、「おかげさま」感謝の思いをも
つて、今年も一歩一歩進んでまいります。
今年もどうぞ、よろしくお願いいたしま
す。



「京都に行きました」松木操



十二月の十九日・二十
日に慶念寺の団体参拝旅
行で京都に行きました。
一日目、新横浜から二
時間で京都着。ご住職の
案内で西本願寺に参り、
御住職の知り合いの方に
丁寧な案内・説明をして
いただきました。

本堂の荘厳さに圧倒さ
れ、大イチョウの壮大き
にビックリ。国宝の唐門の多彩な色とその彫
刻の力強さにただ感動しました。

また、飛雲閣の日本人ならではの細かい配
慮をされた作りに驚きました。

夜は先斗町での会食。京都ならではの日本
料理を堪能し、ホテルに戻りました。

二日目、朝五時半に阿弥陀堂門に着くとあ
ちらこちらからすでに奉仕団の方々が来て開
門を待っておられました。鐘と同時に開門。
皆さん急いで本堂に。

本堂に正座をして大
勢の門徒の方々の称え
る「南無阿弥陀仏」の
お念仏は大きな輪にな
って響き、初心者の私
には畏れ多い感でし
た。無事お煤払いにも
参加でき、煤竹を持って
堂内をお掃除させて
いただいた、まれな経





験でした。

その後、聖護院門跡を訪ね、ここでも住職の先輩の方に丁寧な説明をしていただきました。皇室にゆかりのある門跡寺院というだけでなく、山伏の総本山であると知り、びっくりしました。その後、近くのお蕎麦屋さんにて美味しいお蕎麦をいただき満腹でした。

知らないかったことを色々知り、貴重な二日間でした。

十二月の団体参拝に参加してくださった松木さんが、感想を寄稿してくださいました。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年二月二十五日 (日) 十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々娘も参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましよう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありましたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

二月十八日 (日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「涅槃会法話会」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

新しい年を迎え、「ちよつとのんびり〜♪」と想像していたら、災害や事故のニュースが飛び込んできて、何とも言えない心持ちで、三が日を過ごしました。被災された皆様、事故に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

慶念寺としても、一人の人間としても何かできることを模索していこうと考えております。

また、慶念寺の法人化にあたり、法人登記の關係の手続きをお願いできる司法書士の方を探しております。お心当たりのある方がいらっしゃいましたらお知らせ頂きますと助かります。

本年も、皆様にとって良い場所、良い空間に慣れるよう励んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenii.com/>



慶念寺ホームページ QR コード